

法遍寺 から大切な 皆様へ

2020年6月1日

日蓮正宗 年間方針

御命題達成の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

人材育成と折伏実践

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で歓喜の実践

境涯開く御題目を
正しい姿勢で実践

② 異体同心の折伏で

広布へ前進

僧俗和合

講中一結

③ 御講と登山の推進で

人材育成

罪障消滅

一生成仏

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

相談無料



2020年5月3日の法遍寺の様子

慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は、静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日顕上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ

今、新型コロナウイルスが蔓延する世界の中で、信心倍増の境界のもと、折伏の行動を起こすことに重大な意味があります。大聖人は「日蓮によりて日本国の有無はあるべし」「日蓮は日本の人の魂」(御書1065頁)と仰せです。大聖人が末法の御本仏であられることを知り、深く信ずる人々は文字通りにこれを受け止めることができますが、そうでない人にとっては、大げさ、あるいは自慢めいた表現としか捉えることができないでしょう。この御言葉は「大慈悲」「忠諫」に徹せられた憂国愛民の御心からなるものです。釈尊も救済力が通じない、末法という五濁悩乱の時に大聖人は、妙法に最も縁が深い日本国に誕生されたのです。日本に住する私たちは、世界の民衆にさきがけて、いわば世界のモデルケースとなっていく役割を担っていることを確信していこう。

② 創価学会に籍を置くみなさまへ (破門以前の指導を紹介)

創価学会の昭和52年前後の教義逸脱問題を是正するため、同会によって作成された特別学習会テキストには「私どもが留意すべき点についてもうしあげます。それはまず第一に、戒壇の大御本尊根本の信心に立ち、総本山大石寺こそ、信仰の根本道場であることを、ふたたび原点に戻って確認したいのであります。戒壇の大御本尊を離れて、われわれの信仰はありません。(中略)この戒壇の大御本尊を厳護するためにこそ、日蓮正宗の厳肅なる化儀があるのであり、その点われわれ信徒は、よく認識していかねばなりません」(56頁)と述べています。これは日寛上人のご教示に添うものであり、日蓮正宗の正しい信仰観です。現在の創価学会が、いかに日寛上人のご教示に反した教団になったか、真実を知るべく法遍寺においでください。

③ 仏の悟りや御本尊の功德力を信じられない人へ

仏教に耳を傾け、仏典を紐解いたことがあるでしょうか。仏教は今から3000年ほど前、インドの出現した釈尊によって説かれました。釈尊は当時流行していた絶対神を立てる宗教を邪義として排斥し、悟り究めた法を50年間にわたって説き、その最後に究極の実教である法華経を宣説されました。その教えは、因果の理法を基底として、法界の真理と人間生命の実相を説くもので、生・老・病・死の四苦を根本的に解決して真実の幸福境界に至ることを目的としたものでした。そして法華経に予証するとおり、末法という時代に入り御本仏が日本に日蓮大聖人として出現されたのです。大聖人の教えは、仏教の根本を説きます。謙虚に仏法の教えを乞い、自ら仏道を求めてこそ、そこに功德があり、生きる力と喜びを知り得るのです。法遍寺においでになり、御本尊に手を合わせて下さい。お待ちしております